

著者紹介

安西祐一郎 (正会員)

1946年生, 1974年慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了, 北海道大学文学部助教授を経て1988年慶應義塾大学理工学部教授, 1993年同理工学部長, 2001年より慶應義塾長, 研究会主査, 理事, 領域委員長, 調査研究運営委員長, 副会長を歴任。

猪俣 敦夫 (正会員)

現職: (独) 科学技術振興機構社会技術研究開発センター, 平成14年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了, 博士(情報), 日本テレコム(株)情報通信研究所を経て現職, 主たる研究: 光伝送制御技術, ネットワークセキュリティ, 著訳書「Linuxセキュリティ大全」, 「Sendmail for Linux」(ピアソングエデュケーション)等, 電子情報通信学会, 教育システム情報学会各会員, E-mail:inomata@ristex.jst.go.jp

歌代 和正

(株) IJ 取締役, 1983年よりシステム管理, ソフトウェア開発等に従事, 1994年より現職, JPCERT/CC 代表理事, JPNIC 理事, Telecom-ISAC 推進会議委員, IPv6 普及・高度化推進協議会理事等を務める。

江連 三香

(株) 三菱総合研究所研究員, 1999年に三菱総合研究所入社, 以来, 情報技術や情報通信ビジネスにかかわる調査研究に従事, 現在, 情報セキュリティ部研究員, 専門は情報セキュリティ。

大場みち子 (正会員)

1982年(株)日立製作所入社, システム開発研究所にて知識工学応用システムに関する研究に従事, 1990年より, 現ソフトウェア事業部に異動し, DB検索ツール, ワークフロー・グループウェアの研究, 開発に従事, 現在はXML/Webサービス, SOAなどに興味を持つ, 2001年大阪大学大学院(工学研究科情報システム工学専攻)博士後期課程修了, 博士(工学), 東洋大学非常勤講師, 電気学会, IEEE各会員。

尾上 能之 (正会員)

1992年東京大学工学部計数工学科卒業, 1997年同大学院博士課程単位取得退学, 同大工学部助手を経て2002年より同大情報基盤センター講師, 博士(工学), プログラミング言語処理系の研究に従事。

岡本 栄司 (正会員)

1978年東京工業大学・電子・博士課程修了, 同年NEC中央研究所入社, その後, 北陸先端科学技術大学院大学, 東邦大学を経て2002年より筑波大学システム情報工学研究科教授, 現在に至る, 1990年電子情報通信学会論文賞, 1993年本会Best Author賞受賞, 2003年電子情報通信学会フェロー, 2004年本会フェロー, 著書「暗号理論入門」(共立出版), 「電子マネー」(岩波書店)など。

小野 厚夫 (正会員)

1936年生, 東北大学大学院理学研究科原子核理学専攻修了, 理学博士, 東北大学理学部助手, 理化学研究所情報科学研究室研究員, 高エネルギー物理学研究所物理研究系助教授, 神戸大学教養部教授, 同国際化学部教授, 現在大手前大学社会文化学部教授。

鎌田 敬介

2002年有限責任中間法人JPCERTコーディネーションセンターにおいて, インシデント業務に従事する, 2004年脆弱性情報ハンドリング業務に従事する。

木村 泰司 (正会員)

(社) 日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)主担研究員, 1999年奈良先端

科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了, 同博士後期課程に在学中, 認証システムとアクセス制御技術の研究および認証局に関する調査研究に従事。

金野 和弘

1974年北海道生, 2004年より, (独) 科学技術振興機構社会技術研究開発センター研究員, 専門は公共経済学, 情報経済論, 現在は, 経済学の視点からDRMを研究している。

坂内 正夫 (正会員)

昭和44年東京大学・工・電気卒業, 同大学院博士課程修了, 東京大学講師, 横浜国立大学助教授, 東京大学・生研・助教授, 教授, 同所長を経て, 平成14年国立情報学研究所副所長, 平成17年4月より同所長, 工学博士, マルチメディア情報処理の研究に従事。

櫻井 三子 (正会員)

日本電気(株)勤務, 1992年慶應義塾大学理工学研究科数理工学専攻修士課程修了, 入社以来, インターネットセキュリティ分野の業務に従事, 長くかかわってきた分野は認証。

佐々木良一 (正会員)

1971年東京大学卒業後, 日立製作所を経て2001年より現職, 工学博士(東京大学), 2002年本会論文賞受賞, 著書「インターネットセキュリティ入門」(岩波新書)など, 本会フェロー, IFIP TC 11 日本代表。

清水 康敬

東京工業大学大学院理工学研究科修了, 助手, 助教授, 教授, 教育工学開発センター長, 大学院社会理工学研究科長, 国立教育政策研究所・教育研究情報センター長, (独) メディア教育開発センター理事長, 工学博士。

高木 浩光 (正会員)

1994年名古屋工業大学大学院博士後期課程修了, 博士(工学), 同大助手を経て1998年工業技術院電子技術総合研究所に転任, 2005年より現職, 専門は並列分散処理, 言語処理系, コンピュータセキュリティ。

高橋 郁夫 (正会員)

1985年早稲田大学政治経済学部卒業, 1987年司法研修所(39期)修了, 情報セキュリティ・電子商取引の法律の研究等に従事, 弁護士(IT法律事務所所長), 宇都宮大学工学部講師。

田中久美子 (正会員)

1997年電子技術総合研究所勤務を経て, 2000年より東京大学大学院情報学環講師, 現在同大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻助教授, 博士(工学), 自然言語処理, 計算言語学, 情報記号論の研究・教育に従事, 情報記号の持つ意味を計算機上で捉え, 人と人, 人と機械のコミュニケーションを支援することに興味を持つ, 日本ソフトウェア科学会, 言語処理学会, ACM, ACL各会員。

土居 範久 (名誉会員)

1969年慶應義塾大学大学院博士課程単位取得退学, 同大理工学部教授を経て, 2003年より中央大学理工学部教授, 慶應義塾大学名誉教授, 工学博士, 現在, 文部科学省科学技術・学術審議会委員, 総務省情報通信審議会委員, 科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センターミッションプログラムII「高度情報社会の脆弱性の解明と解決」研究統括, 特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会会長, 国際計算機学会(ACM)日本支部長など, 専門はソフトウェアを中心とした計算機科学および情報セキュリティ, 本会功績賞受賞。

富高 政治

平成5年大阪大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了, 同年富士通(株)入社, 現在ソフトウェア事業本部フロントアセキュリティ

ティインフラプロジェクトに所属, 平成13~14年厚生労働省医療情報ネットワーク検討会委員などを担務。

野中 誠 (正会員)

2000年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程単位取得退学, 1999年同大理工学部助手などを経て, 2003年より東洋大学経営学部専任講師, 2000年本会第61回全国大会奨励賞受賞。

早貸 淳子

1984年法務省採用, 登記のコンピュータ処理のための法整備, 商業登記に基づく電子認証制度の構築, 経済産業省商務情報政策局への出向等を経て, 2003年7月から2005年3月まで(独)情報処理推進機構セキュリティセンター長。

廣瀬 康行 (正会員)

1958年生, 1988年東京医科歯科大学大学院博士課程歯学研究科修了, 歯学博士, 同年同学医員, 1990年同学助手, 1997年よりISO/TC 215国際専門家, 1998年より琉球大学医学部附属病院医療情報部教授, 日本医療情報学会, 日本病院管理学会, 各評議員。

藤崎哲之助

工学博士, 1970年東京大学計数工学科卒業, 1972年同大工学系大学院卒業, 2000年コロンビア大学MBA卒業, 1972年日本IBMサイエンティフィック・センター入社, 1987年米国IBM T. J. ワトソン研究所入社, 2002年よりコロポ・テクノロジ(株)代表取締役社長, E-mail:tetsu.fujisaki@attglobal.net

増井 俊之 (正会員)

産業技術総合研究所主任研究員, 情報検索, テキスト入力, 情報視覚化, 実世界指向インタフェース, 情報共有などユーザインタフェース関連の研究に従事, 富足的プログラミングに興味を持つ。

松浦 幹太 (正会員)

平成9年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了, 同大生産技術研究所助手などを経て, 現在, 同助教授, 情報セキュリティの研究に従事, 博士(工学), 著書に「情報セキュリティ概論」(共著, 昭晃堂)など。

三宅なほみ

協調的な学習過程を認知科学的に解明する, 人が考えていることの軌跡を残すなど認知過程を外化しやすい学習環境を設計し, 実践的に評価してその場で起きる学習過程の分析から学習の理論を構築したいと考えている。

村瀬 一郎 (正会員)

(株)三菱総合研究所主席研究員, 1986年に三菱総合研究所入社, 以来, 情報技術の調査, グループウェアの研究開発, 情報セキュリティの研究開発・調査・政策提言などに従事する, 現在, 情報セキュリティ研究部長主席研究員, 専門は情報セキュリティ関連の研究開発および政策提言など。

村野 正泰

(株)三菱総合研究所主任研究員, 1993年に三菱総合研究所入社, 2000~02年IPAセキュリティセンター研究員, 2005年4月より経済産業省情報セキュリティ政策室に出向, 専門は情報セキュリティ。

山口 英 (正会員)

1964年静岡生, 2000年より, 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授, 2004年より, 内閣官房情報セキュリティ補佐官を兼務, 大規模分散処理環境構築, ネットワークセキュリティなどの研究を行う, また, WIDE Projectの運営協議会メンバーとして, 広域コンピュータネットワークの構築・研究に従事する。

名誉会員の紹介

第 504 回理事会（平成 17 年 1 月）の議を経て、下記の 3 君が平成 17 年 5 月 20 日第 48 回通常総会において名誉会員に推挙されました。
（会員番号順）



發 田 弘 君 は っ た ひろし

昭和 38 年 3 月 東京大学工学部電子工学科卒業
昭和 38 年 4 月 日本電気株式会社
昭和 51 年 8 月 同社 コンピュータ技術本部方式開発部 技術課長
昭和 57 年 6 月 同社 コンピュータ技術本部 第二方式技術部長
平成 元年 7 月 同社 情報処理製品計画本部長
平成 3 年 7 月 同社 C & C システム製品計画本部長
平成 4 年 7 月 同社 理事・支配人
平成 12 年 5 月 同社 囑託
平成 14 年 6 月 沖電気工業株式会社 理事

本会関係略歴

- (1) 昭和 39 年 4 月入会
- (2) 理事（平成 2 年～平成 3 年度）
- (3) 監事（平成 6 年～平成 7 年度）
- (4) 副会長（平成 11 年～平成 12 年度）
- (5) 会誌編集委員（昭和 50 年～昭和 54 年）
- (6) NGI 委員会 委員長（平成 11 年）
- (7) 情報規格調査会委員（平成 11 年～平成 12 年度）
- (8) 電子化専門委員会 委員長（平成 11 年～平成 13 年）
- (9) 出版委員会 委員長（平成 11 年～平成 13 年）
- (10) 会員増強委員会 委員長（平成 12 年）
- (11) 著作権委員会 委員長（平成 12 年）
- (12) 創立 40 周年記念事業実行委員会 副委員長（平成 12 年）
- (13) 全国大会組織委員会 委員長（平成 12 年）
- (14) SAINT 運営委員（平成 12 年～平成 15 年）
- (15) FIT 推進委員会 委員長（平成 13 年～平成 14 年）
- (16) 国際業務委員（平成 13 年～現在）
- (17) IFIP 委員（平成 13 年～現在）
- (18) 歴史特別委員会 委員（平成 15 年～現在）
- (19) 平成 13 年度功績賞
- (20) 平成 14 年度フェロー



土 居 範 久 君 ど い のり ひさ

昭和 39 年 3 月 慶應義塾大学工学部管理工学科卒業
昭和 44 年 3 月 慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程（管理工学専攻）
単位取得退学
昭和 50 年 3 月 工学博士（慶應義塾大学）
昭和 61 年 4 月 慶應義塾大学教授
平成 15 年 4 月 中央大学教授
慶應義塾大学名誉教授
昭和 50 年 9 月～昭和 51 年 8 月 カーネギーメロン大学計算機科学科客員研究員
昭和 51 年 5 月～昭和 51 年 7 月 ウォータールー大学 CCNG 客員教授
平成 6 年 7 月～平成 15 年 7 月 日本学術会議会員（第 16 期，第 17 期，第 18 期）
平成 10 年 7 月～平成 12 年 3 月 学術情報センター客員教授
平成 13 年 2 月～現在 科学技術・学術審議会委員
平成 13 年 4 月～平成 17 年 3 月 国立民族学博物館客員教授
平成 15 年 1 月～現在 情報通信審議会委員
平成 15 年 4 月～平成 17 年 3 月 慶應義塾大学客員教授
平成 15 年 10 月～現在 特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会 会長
平成 15 年 10 月～現在 中国 国立武漢大学客員教授

本会関係略歴

- (1) 昭和 39 年入会
- (2) 理事 (平成 4 年～平成 6 年)
- (3) 月例会幹事 (昭和 44 年～昭和 47 年)
- (4) オペレーティングシステムズシンポジウム 幹事 (昭和 45 年)
- (5) プログラミングシンポジウム委員会 副幹事長 (昭和 47 年～昭和 48 年)
- (6) 欧文誌編集委員 (昭和 56 年～昭和 63 年)
- (7) 創立 30 周年記念国際会議運営委員 (昭和 63 年)
- (8) 論文誌編集委員会 委員長 (平成 5 年～平成 6 年)
- (9) 規格調査会 SC22 専門委員会 委員長 (平成 5 年～平成 8 年)
- (10) コンピュータセキュリティ研究会 主査 (平成 9 年～平成 12 年)
- (11) 情報環境領域委員 主査 (平成 10 年～平成 12 年)
- (12) コンピュータセキュリティ研究会 顧問 (平成 12 年～現在)
- (13) 代表会員 (平成 11 年～平成 13 年)
- (14) 平成 13 年度功績賞
- (15) 平成 14 年度フェロー



Acad. Blagovest Hristov Sendov 君

- | | |
|-----------------|--|
| 1956 | Graduated in Mathematics from Sofia University, Sofia, Bulgaria. |
| 1964 | Ph.D. in Mathematics, Sofia University, Sofia, Bulgaria. |
| 1967 | Doctor of Sciences, Steclov Mathematical Institute, Moscow. |
| 1960 - 1961 | Specialization in Numerical Analysis, Moscow University, Russia. |
| 1968 | Specialization in Computer Science, Imperial College, London. |
| 1981 | Conferred the Scientific Degree "Academician". |
| 1956 - 2003 | Lecturer, Associate Professor and Professor in Numerical Analysis and Computer Science, Sofia University. |
| 1970 - 1973 | Dean, Faculty of Mathematics, Sofia University. |
| 1973 - 1979 | Rector, Sofia University. |
| 1980 - 1988 | Vice-President, Bulgarian Academy of Sciences. |
| 1988 - 1991 | President, Bulgarian Academy of Sciences. |
| 1975 - 1990 | Member of the Bulgarian Parliament. |
| 1997 - 2003 | President and Vice-President of the Bulgarian Parliament |
| From 19.12.2003 | Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of Bulgaria to Japan. |
| 1980 - 1985 | Vice-President and President of the International Association of the Universities, now Honorary President. |
| 1989 - 1992 | President of International Federation for Information Processing (IFIP), now Honorary President. |

平成16年度功績賞

功績賞は、情報処理に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著な会員に贈呈されます。

本年度の受賞者は関連規程に基づき、第506回理事会（平成17年3月）の議を経て、下記の2君に決定され第48回通常総会（平成17年5月20日）において、賞状および賞牌が授与されました。

（会員番号順）



片山卓也君

かた やま たく や

本会正会員 片山卓也君は、永年にわたり一貫してソフトウェア科学・工学の両分野の研究に携わり、数多くの優れた業績をあげてられました。特に、関数的プログラミングに基づくソフトウェア開発方法論の構築、ソフトウェアの検証方式の開発、ソフトウェアの発展・進化モデルについての一連の研究は、形式手法と呼ばれるソフトウェア構築方法の先駆的な成果としてきわめて高く評価されています。またこれらの研究を通じて、優れた教育を行い、同分野のみならず、ネットワークの分野などでも、優秀な人材を送り出してられました。

また、同君は科研費特定領域研究「発展機構を備えたソフトウェアの構成原理の研究」研究代表者、日本学術振興会未来開拓研究「ソフトウェア開発方法論」プロジェクトリーダー、21世紀COEプログラム「検証進化可能電子社会」プロジェクトリーダー等を歴任し、ソフトウェアおよびソフトウェア工学研究分野の日本のリーダーとして、現在もお活躍されています。

ます。

本会においては、各種委員会委員、主査、理事等を歴任され、また日本ソフトウェア学会の第3代理事長として活躍されるなど、日本のソフトウェア科学・工学に指導的な貢献をされました。また国際的には第7回ソフトウェアプロセス国際ワークショップ組織委員長、ソフトウェア工学分野の第1級の国際会議であるICSEのプログラム委員長等を歴任し、同分野の国際的な発展に貢献されました。これらの業績により、日本ソフトウェア学会より特別功労賞、さらにフェローの称号を授与されています。

一方、日本初の独立キャンパスを持つ国立の大学院大学の創設において、先駆的な研究・教育システムの構築・運営などに中心的貢献を行い、その後の日本の大学改革に多大の影響を及ぼしました。

以上のように同君は、ソフトウェア研究の進展に大い貢献したのみならず、日本の大学の教育・研究システムの改革にも大いに尽くしたものであり、その功績はまことに顕著であります。



田中英彦君

た な か ひで ひこ

本会正会員 田中英彦君は東京大学工学部に職を得られて以来、情報工学分野（特に計算機アーキテクチャ）での研究に専念され、情報機器学講座の担当教授に任ぜられて以降、たとえば推論型プログラミング言語Flengを始めとするソフトウェア、あるいは超並列計算機PEI64を含むハードウェアなどの開発研究を通じ、多数の学生を育て鍛え、幾多の英傑を送り出されてきました。またネットワーク、マルチメディア、ヒューマンインタフェースの分野でも学生の独創的な研究をいくたびも指導されました。

講座の運営に加え、学科長、専攻長をも兼任されただけでなく、近年では情報理工学系研究科の創設に心を砕かれ、初代の研究科長に選出されて同研究科を軌道に乗せるべく力を尽くされました。

同君はまた第五世代コンピュータプロジェクト（FGCS）、リアルワールドコンピューティングプロジェクト（RWC）など国家規模の研究を推進する委員会の委員長、並列分散処理研究推進機構（PDC）の大学横断の重点領域研究の代表者として、研究の強力な展開、成功の評価の獲得に注力されました。

本会の関係では、理事（1987年～1989年）、各種委員会の委員などを歴任されて会の運営に携われ、規格調査の方面では、ISO/IEC JTC 1/SC 21 専門委員会委員長（1987年～1993年）として規格の制定整備にかかわってられました。これらの業績に対し、本会からフェローの称号（2001年度）および標準化功績賞（2000年度）を授与されています。

2004年3月東京大学を定年退官し（東京大学名誉教授）、同年4月からは情報セキュリティ大学大学院の教授、情報セキュリティ研究科長として指導にあたっておられます。

各賞表彰(概要)

詳細は Web サイト (http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/award/sho_index.html) をご覧ください

平成 16 年度論文賞の表彰

本賞の選考は、表彰規程および論文賞受賞候補者選定手続に基づき、論文賞委員会(委員長 植村俊亮)が、情報処理学会論文誌第 44 巻 10 号～第 45 巻 9 号に掲載された対象論文 454 編につき慎重に審議を行いました。その結果、下記の 8 編が受賞候補論文として選定され、第 506 回理事会(平成 17 年 3 月)の承認を得て決定されました。なお、本会表彰規程により、第 48 回通常総会(平成 17 年 5 月)において著者に表彰状、賞牌および賞金が授与されました。

- 「並列トポロジカル整列アルゴリズム」
[論文誌 Vol.45, No.4, pp.1102-1111 (2004)]
多田 昭雄君(正会員) 右田 雅裕君(正会員)
中村 良三君(正会員)
- 「スレッド局所性を利用した Java ロックの高速化」
[論文誌 Vol.44, No.SIG15 (PRO19), pp.13-23 (2003)]
河内谷 清久仁君(正会員) 古関 聡君(正会員)
小野寺 民也君(正会員)
- 「静的解析に基づく侵入検知システムの最適化」
[論文誌 Vol.45, No.SIG3 (ACS5), pp.11-20 (2004)]
阿部 洋丈君 大山 恵弘君(正会員)
岡 瑞起君 加藤 和彦君(正会員)
- 「ダイナミックタイムワーピングのための類似検索手法」
[論文誌 Vol.45, No.SIG4 (TOD21), pp.23-36 (2004)]
櫻井 保志君(正会員) 吉川 正俊君(正会員)
- 「SmartMusicKIOSK: サビ出し機能付き音楽試聴機」
[論文誌 Vol.44, No.11, pp.2737-2747 (2003)]
後藤 真孝君(正会員)
- 「単板カラー撮像素子の RAW データを利用した高精細画像復元」
[論文誌 Vol.45, No.SIG8 (CVIM9), pp.15-25 (2004)]
後藤 知将君 奥富 正敏君(正会員)
- 「P2P データ共有における暗号化データのアクセス制御」
[論文誌 Vol.44, No.10, pp.2437-2443 (2003)]
渡邊 裕治君 沼尾 雅之君(正会員)
- 「電子透かし検出に適した誤り訂正符号の拡張方式」
[論文誌 Vol.45, No.8, pp.1980-1997 (2004)]
藤井 康広君(正会員) 越前 功君(正会員)
山田 隆亮君(正会員) 手塚 悟君(正会員)
吉浦 裕君(正会員)

受賞者には、本会表彰規程により、5月20日に開催された第48回通常総会において、受賞者に表彰状および賞牌が授与されました。

- 「IBM Java Just In Time Compiler の研究開発」
中谷登志男君(正会員) 小松 秀昭君(正会員)
小野寺民也君(正会員) 菅沼 俊夫君(正会員)
石崎 一明君(正会員)
- 「乗り換え案内・地図・Web マーケティング技術によるインターネットサービス事業の創出」
河田 勉君(正会員) 村永 哲郎君(正会員)
小山 徳章君(正会員) 久保田浩明君
唐崎 幸弘君
- 「1チップ10ギガビットイーサネットスイッチ LSI の開発とスイッチの製品化」
清水 剛君(正会員) 堀江 健志君(正会員)
服部 彰君(正会員) 木村 康則君(正会員)
西川 克彦君

平成 16 年度研究開発奨励賞の表彰

本会では、「坂井記念特別賞」資金終了による完結にともない、その主旨を受継ぎ平成 15 年度より優秀な若手研究者を顕彰するため、「研究開発奨励賞」を設置いたしました。本賞は、情報処理の学術・技術に関わる分野でその研究開発に特に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展が期待される 39 歳までの研究・開発者を対象としています。

本年度の受賞者は「研究開発奨励賞候補者推薦書」により推薦された候補者の内から、表彰規程および研究開発奨励賞候補者選定手続に基づき、白鳥副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、第 506 回理事会(平成 17 年 3 月)の承認を得て、下記の 3 君に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、5月20日に開催された第48回通常総会において、表彰状および賞金が授与されました。

- 「リアルワールド知能システム用プロセッサの開発」
張山 昌論君(正会員)
- 「離散列挙問題に対するアルゴリズムの研究」
牧野 和久君(正会員)
- 「RFID プライバシー保護技術に関する研究開発」
木下 真吾君(正会員)

平成 16 年度業績賞の表彰

本会では、平成 13 年度から、産業界における顕著な業績を顕彰するため「業績賞」を設けております。

本賞は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業界への貢献が明確になったものを選定し、その貢献者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は、「業績賞候補者推薦用紙」により推薦された候補のうちから、表彰規程および業績賞候補選定手続に基づき、松田副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、第 506 回理事会(平成 17 年 3 月)の承認を得て、下記の 3 件の業績の貢献者 15 名に決定されました。

おひいすらん

5月20日までに原稿をと言われて、前回2年前にもこの時期に書いたことを思い出しましたが、この2年間、何とまあ、たくさんの方があったことか...

2003年5月に職員の退職積立金の多額の不足が判明してからは、事務局固定費削減のための事務所の移転と、人件費抑制のための諸規程改訂に追われ、ようやくその2つに先が見えたかと思いきや、私の上司で主に財務を担当されていた方が退職を希望され、でも後任にはきっとまた良い方が来てくれるでしょうと思っていたら、人件費抑制のためには後任は貴方がやるのですと言われ、呆れて返す言葉もなかった数日... 総務に加えて財務までなぞ、あまりに重要かつ仕事量の多さが分かるだけに、啞然としてばかりはいられず、こればかりは絶対に引き受けられませんと、辞表覚悟で粘りに粘った数カ月... それでもやっぱり、総務財務を担当される役員の方々からは、僕たちががついているから安心してお仕事しなさいと、心強く温かく(当時の私には恨めしい以外の何ものでもない一言でしたけど...) だめすかさされ、2004年3月には事務局移転と就業規則の大改訂、4月にはろくな引継ぎもない中で初めての決算と、はっきり言って、今思い出してもゾッとする悪夢のような去年の春でした。

続く2004年度は、そのまま雪崩れ込むように、公益法人会

計基準や法人改革の大きな変更への対応に終始した年でした。

ただ、この2年間、担当の役員の方々は、当時のお約束通りに本当によく事務局総務・財務の仕事を見てくださり、その都度とても適切なお指導をくださり、よくぞこの時期に素晴らしい役員の方々に恵まれたことかと、事務方として心からありがたく感謝しております。

それでも最近「会計」「財務」「総務」という文字を見ると、思い切り拒絶反応を示している自分に気がつきます。あまりの仕事量の多さに嫌気がさして「仕事拒否症」が出るようになったのも去年からですが、そういう時は全部忘れて、大事な家族とゆっくり旅に出かけるようになりました。

今年、2回目の決算が終わりました。おかげさまで職員の退職金の積立不足は今期決算で解消していただくことができ、それだけはとてもホッとして、1つ大きな重荷が取れた気がしています。

体力がどこまでもつか分かりませんが、この2年間の担当役員皆様への感謝を胸に、できれば心に決めたその時まで、情報処理学会の皆様と事務局の皆さんのためにお仕事できればと思っています。

(中田志麻子/管理部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国 際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「バイオインフォマティクス」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■今月の特集は、バイオインフォマティクスにおいてどのような問題が存在するかが分かりやすく書かれていたので、この分野に疎い自分にとってとても勉強になりました。また新しい分野の研究を進めていく上での課題や教育のあり方、といったものについても考えさせられました。今回の特集を読んで、自分が生物学に関する知識をほとんど持っていないことを痛感しました。もしも、この分野の研究をしようと思ったら、生物学についての勉強をしなければならぬと感じました。(片山聡一郎)

■「特集：バイオインフォマティクス」についてとてもよく解説されていて、現在行われている最新技術がよく分かり参考になった。特に、遺伝子配列の解析には確率文脈自由文法や隠れマルコフモデルなど、言語の世界で用いる技術が役立っていることに興味を持ちました。(白井治彦)

■「医療・医学におけるバイオインフォマティクス」について、個人の差にあわせた治療によって、人間の健康に、より寄与できると思う。(匿名希望)

■いかなる分野であれ、情報技術をめきにしては成立しない。バイオの世界ではどのような状況なのかが、本号で俯瞰でき面白く読みました。情報技術の重要性を改めて実感しました。今後もこのような企画をお願いします。(匿名希望)

■「バイオインフォマティクス研究者スキル」は2月、3月とバイオ関係の特集が続いて、専門外の私には理解が難しい記事が多かったのですが、人材養成をテーマとして肩に力を入れずに読むことができました。確かに情報科学のこれまでの応用分野であったCAD、構造解析、衝突・電磁波シミュレーションなどは物理系であって、情報科学者にとって親和性が高かったのに対し、バイオロジーはかなり異質の学問、いわば外国語のようなものであって、まっとうなバイオインフォマティクス研究者となるためにはバイリンガルの素養が必要となることを痛感しました。著者も述べているように、これまでの縦割り教育では生物系出身者が情報科学を学ぶか、情報系出身者が生物学を学ぶしかなかったのですが、やはり本格的なバイオインフォマティクス研究者を数多く育成するためには、ここに掲示されたカリキュラム案のように、大学初期の段階から生物学と情報科学をバランスよく学んでいくのが理想であるように思います。(中隈誠一)

■情報関係者の興味のすそ野を広げるという意味でも今回の特集は大変興味深く読ませていただきました。(匿名希望)

■特に興味を持ったのは、「バイオインフォマティクス研究者スキル」の“生物学と情報科学を並行して教えることは可能か?”という記事です。情報科学にかかわる者として、計算機アーキテクチャ、コンパイラ、ソフトウェア工学、プログラミング言語論を特論にまとめてしまっても良いのだろうかという疑問がわきました。この話題については、可能ならば表-3にある大学の意見を学会で取り上げてもらいたい。(匿名希望)

■バイオインフォマティクス全般の知識を得るのに大変有効であったのみならず、情報処理応用という視点で何が求められるのか、という観点で捉えても大変面白かった。また、「バイオインフォマティクス研究者スキル」に興味を持って読んでみた。このようなカリキュラム構成論は、バイオインフォマティクスに限らず、新たな複合領域にとって重要であると思う。たとえば、コンテンツに重心が置かれつつある現在、コンテンツ媒体としてのデジタルメディアに関するカリキュラムはどうあるべきか、などに興味がある。(匿名希望)

■バイオの特集は面白い企画だと思います。これから、バイオとナノテックの技術融合がどのようにしていくのか非常に興味があります。(松田昭信)

解説「動き始めた財務会計データ標準 XBRL」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■財務会計データ標準を規定したXBRLの記事は、情報工学を専攻しながら経済に属している私にはとりわけ興味深かった。次回はXBRLを用いた分析手法の紹介をしていただきたい。(匿名希望)

■財務会計データ標準に関して、最近、関心の高まっている環境保護の関係などでも、環境会計報告書などWeb上に掲載し共有すべき情報があるので、応用範囲が広く普及するであろう。(匿名希望)

連載「組込みソフトウェア産業の実態と開発の課題：組込みソフトウェア高品質化へのアプローチ」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■私自身はまだ学生の身ですし、実際の開発に携わったことがないのでですが工程間手戻りのグラフが興味深かったです。日本が圧倒的に工程間の手戻りが多く、特に100%のケースも少なくないのが驚きでした。(匿名希望)

■「組込みソフトウェア高品質化へのアプローチ」に興味深く読ませていただきました。前回の記事もそうでしたが、日本と欧米との違いがはっきりと示されており、今後取り組まなければならない課題が多いことが分かりました。(菅野宏之)

■連載「組込みソフトウェア産業の実態と開発の課題」で品質の話に興味深く読ませていただきました。ソフトの品質については論文や本などを見かけますが、生活に密着してきたインターネットサービスの品質について興味があります。今後、本誌で取り上げていただくと幸いです。(匿名希望)

■「組込みソフトウェア高品質化へのアプローチ」について、私の印象では日本の自動車やその他ハードウェアは、他国に比べて精巧で信頼性が高い印象を持っていたため、欧州、日本、米国におけるソフトウェア製品出荷後の不具合発生比較で、他と比べて日本の不具合発生率が多少高いことはとても意外でした。産学官三位一体となったソフトウェア教育への取り組みがさらに強化されることを期待したいです。（匿名希望）

コラム「アメリカITまわりの話題：米国流新しい電話の使い方」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■最近自分の周りでも Skype を使ってる人が増えてきていますが、今回の米国での VoIP 電話の記事のように、日本での利用もどんどんと広がっていくのではないかという気がします。今後日本ではどのように利用が増加していくのか、今回の記事と比較しつつ動向を見ていきたいと思いました。（片山聡一郎）

■「米国流新しい電話の使い方」では、VoIP 電話サービスが通常の電話に取って代わった後に、電話サービスがどうなっていくか興味がある。（匿名希望）

3月号にて最終回となりましたコラム「アジアIT事情：韓国のIT事情」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■今回でアジアIT事情が最終回なのがとても残念です。今後もこのような海外IT事情を知ることができる記事を掲載して欲しいです。（片山聡一郎）

■著者らが「日韓が協力してITの世界標準やビジネスモデルを創造していくことを期待したい」と最後に締めているように、これからアジアが中心となって世界をリードする方向へいけたらと思う。日中韓で第4世代携帯電話の周波数帯域を揃えることで、技術仕様を含めた世界標準化で主導権を確保しようとしていることも、その成功例となればと期待する。（近藤 武）

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■学会の実情をよく知らなかったため、巻頭言が面白かったです。（匿名希望）

■連載「プログラム・プロムナード」は、いつも楽しく読ませていただいています。（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■情報分野研究者のための入門書・推薦書 100 選（片山聡一郎）

■情報技術（といっても、そのレパートリーは多岐に渡りますが）に関する基礎講座の連載を。（匿名希望）

■アジアIT事情に続き、欧州IT事情をお願いしたい。（近藤 武）

■やはり、知的財産権を専門としている者としては、情報処理部門に特有な特許・著作権のホットな問題点について、特集あるいは連載で再び取り上げていただけるとありがたいです。（中隈誠一）

■バイオ関連が続きましたが、これからの情報処理にとって重要な項目だと思います。また時々特集をお願いします。（匿名希望）

■インターネット計測情報の処理、などのテーマを取り上げていただければと思っています。（小出和秀）

■会誌が手元になかったため、情報処理学会電子図書館のオンデマンドサービスで記事を利用しましたが、最初の登録手続きはデータ漏れなどの不安もあり少し面倒な気がしました。しかし、PDFは、古い論文のPDFによくあるようなページのコピーではないので、読みやすくして便利でした。また、古い論文誌や会誌などをすべて保存しておくのはスペースの関係もあって困難なのでこのようなサービスは、今更ながらですが、便利でよいと感じました。（匿名希望）

コラム「日本のIT事情：変貌する秋葉原」記事中の「深セン」という表記に対して、「セン」には「土へんに川」の文字があるはずである」との指摘をいただきましたが、「誤解を招かない限りJISにない文字は片仮名で表記する慣習に従う」という著者の意見に沿って、このように表記いたしました。（編集部）

【本欄担当 笹島宗彦、松尾健史／書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください！！

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax: (03)35 18-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4606.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております。
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IPSIJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「新たな適用領域を切り開く情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-E.html	6月15日(水)		
	論文誌「再考 分散システム/インターネットの運用・管理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-H.html	6月24日(金)		
	論文誌「マルチエージェントの理論と応用」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-F.html	8月31日(水)		
6月16日(木)～ 6月17日(金)	Visual Computing / グラフィクスとCAD 合同シンポジウム http://fuji03.sys.wakayama-u.ac.jp/vc2005/	3月11日(金)		JA 長野県ビル会議場
6月17日(金)	連続セミナー 2005 第1回「組み込みソフト基礎と各社の状況」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール (株) NTT データ
6月17日(金)	第21回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ITS21.html	4月22日(金)	当日のみ	
6月18日(土)	第80回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CE80.html		当日のみ	獨協大学
6月24日(金)	第13回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EVA13.html	4月18日(月)	当日のみ	アイ・アイ・エム
6月25日(土)	第28回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EIP28.html		当日のみ	早稲田大学
6月28日(火)	第55回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MPS55.html		当日のみ	Monte Carlo Resort (Las Vegas)
7月6日(水)～ 7月8日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2005) シンポジウム http://www.dicom.org/	3月15日(火)	6月6日(月) キャンセルは6/21まで	ホテル志戸平 (岩手県花巻温泉)
7月8日(金)	連続セミナー 2005 第2回「組み込み用OSの基礎と応用」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
7月8日(金)～ 7月9日(土)	第49回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/society49.html	5月9日(月)	当日のみ	早稲田大学理工学部 大久保キャンパス
7月13日(水)～ 7月15日(金)	第137回データベースシステム研究発表会 ～夏のデータベースワークショップ DBWS2005～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS137.html	5月17日(火)	当日のみ	奥入瀬溪流グラウンド ホテル
7月15日(金)～ 7月16日(土)	1st International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2005) http://www.collabtech.org/			江戸東京博物館
7月15日(金)～ 7月16日(土)	第57回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP57.html	5月13日(金)	当日のみ	函館 湯の川温泉
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第30回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.sdl.hitachi.co.jp/csec/mt20050721.html	5月20日(金)	当日のみ	岩手県立大学
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第114回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI114.html	5月20日(金)	当日のみ	白馬ロイヤルホテル (長野県白馬村)
7月21日(木)～ 7月22日(金)	第10回ヒューマンインタフェースプロフェッショナルワークショップ (HIP10) http://css.jaist.ac.jp/hip10/		6月24日(金)	白馬ロイヤルホテル (長野県白馬村)
7月22日(金)～ 7月23日(土)	第168回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL168.html		当日のみ	沖縄県 宜野湾市
7月22日(金)	第51回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD51.html	5月17日(火)	当日のみ	岩手県立大学 (予定)
7月25日(月)	第1回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO1.html	5月20日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所 (江東区 青海)
7月28日(木)～ 7月29日(金)	第149回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SE149.html	5月30日(月)	当日のみ	南山大学 瀬戸キャンパス
7月29日(金)	第16回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI16.html	5月13日(金)	当日のみ	東京 (浅草)
8月1日(月)～ 8月3日(水)	第140回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ICS140.html	5月31日(火)	定員になり次第	ホテルメゾン軽井沢
8月3日(水)～ 8月5日(金)	2005年並列/分散/協調処理に関する『武雄』 サマー・ワークショップ (SWoPP 武雄) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SWoPP2005.html	4月25日(月)	当日のみ	武雄市文化会館
8月4日(木)～ 8月5日(金)	第61回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS61.html	6月3日(金)	当日のみ	NTT 西日本京阪奈ビル
8月5日(金)	第38回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM38.html	5月27日(金)	当日のみ	一橋大学 国立キャンパス
8月24日(水)～ 8月26日(金)	DA シンポジウム 2005 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DA2005.html	5月9日(月)		遠鉄ホテルエンパ イア
8月25日(木)	第93回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS93.html	5月27日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
8月25日(木)～ 8月26日(金)	「平成17年度電気関係学会東北支部連合大会」開催案内 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月10日(金)	当日受付可	岩手大学学生センター 棟 (盛岡市)
8月29日(月)～ 8月31日(水)	ネットワーク生態学研究グループ サマースクール http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0508.html		定員になり次第	のとふれあい文化 センター
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/	査読付: 4月28日(木) 一般: 6月3日(金)		中央大学 後楽園キャンパス
9月14日(水)	連続セミナー 2005 第3回「組み込み用LSI」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月15日(木)～	東海支部「電気関係学会連合大会」開催案内および論文募集	7月4日(月)	8月26日(金)	名城大学
9月16日(金)	http://www.watanabe.ss.is.nagoya-u.ac.jp/rengo2005/			天白キャンパス
9月19日(月)～	4th International Conference on Entertainment Computing			関西学院大学
9月21日(水)	http://ist.ksc.kwansei.ac.jp/ICEC2005/			
9月20日(火)～	夏のプログラミング・シンポジウム	7月15日(金)	7月22日(金)	信州戸倉上山田温泉
9月22日(木)	「プログラミング道～その原点・その道を極める～」 http://hq.os.cs.tuat.ac.jp/sprosym05/			ホテル清風園
9月24日(土)～	「電気関係学会北陸支部連合大会」開催案内および講演募集	8月12日(金)		石川工業高専
9月25日(日)				(石川県河北郡)
9月29日(木)～	九州支部「電気関係学会支部連合大会」開催案内および	7月20日(水)	8月31日(水)	福岡工業大学
9月30日(金)	講演募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			(福岡市東区)
10月7日(金)	連続セミナー 2005 第4回「組み込みソフト開発手法・検証ツール」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
10月17日(月)～	組み込みソフトウェアシンポジウム2005 (ESS2005)	7月15日(金)	定員になり次第	日本科学未来館
10月19日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ESS2005.html			
11月25日(金)	連続セミナー 2005 第5回「組み込みソフト開発事例(組み込みOS系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月28日(月)	連続セミナー 2005 第6回「組み込みソフト開発事例(ユビキタス系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
2006年				
1月23日(月)～	2006年インターネット応用国際会議 (SAINT2006)	7月1日(金)		アメリカアリゾナ州
1月27日(金)	http://www.saintconference.org/			フェニックス
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (学会創立45周年記念イベント) http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			工学院大学 新宿キャンパス
3月8日(水)～	第68回全国大会 (学会創立45周年記念大会)			工学院大学
3月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/			新宿キャンパス
5月9日(火)～	7th International Conference on Mobile Data Management			奈良新公会堂
5月12日(木)	http://www.mdm2006.kddilabs.jp/			
9月5日(火)～	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学
9月7日(木)				

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

■ 5月16日 人材募集情報 (5月) 更新しました

[学会からのお知らせ]

■ 5月17日 論文誌 (ジャーナル) の論文査読状況を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）
賛助会員（企業） 31,500円（ 〇 ）
賛助会員以外の企業 52,500円（ 〇 ）
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■湘南工科大学工学部

募集人員 (a)助教授または講師 1名（教育嘱託・更新による継続可） (b)教授，助教授または講師 1名 (c)教授，助教授または講師 1名

所属 (a)総合文化教育センター (b)情報工学科 (c)情報工学科

専門分野 (a)計算機科学，ソフトウェア，通信ネットワーク
(b)論理回路，システムLSI，計算機アーキテクチャ，設計自動化などの分野
(c)言語処理，オートマトン，コンパイラ，ソフトウェア設計などの分野

担当科目 (a)情報処理演習，コンピュータ概論，プログラミングおよび学内ネットワークやシステムの設計・管理・運用の業務
(b)システムLSI，計算機構成論，論理回路，アルゴリズム&データ構造など
(c)コンパイラ，プログラミング，アルゴリズム&データ構造，システムプログラム，オートマトン，確率論など

応募資格 (a)着任時50歳以下の方，私立大学における情報工学の基礎教育に理解と熱意のある方，計算機システム管理経験のある方が望ましい
(b)，(c)博士の学位を有し，学部教育に熱意のある方。大学院指導ができ，年齢は55歳以下の方が望ましい。

着任時期 平成17年10月1日

提出書類 (a)履歴書（E-mailアドレスがあれば記入），研究業績リスト（研究およびシステム管理経験など），私立大学における情報工学の基礎教育に対する抱負，推薦書1通または本人についての所見を求め得る2名の方の氏名と連絡先
(b)，(c)履歴書，研究業績リスト（論文，国際会議論文，著書などに分類），主要論文別刷（5編），今後の教育・研究についての抱負（A4用紙1枚程度），推薦書1通，または本人の業績などをよく知っている方2名の氏名・所属・連絡先

応募締切 平成17年6月30日

送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学事務局 事務局長 難波洋雄
(a)「総合文化教育センター教員応募書類」(b)「情報工学科①教員応募書類」(c)「情報工学科②教員応募書類」とそれぞれ朱書き書留

照会先 事務局 事務局長 難波洋雄 E-mail:namba@center.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0250 Fax(0466)35-2055
(a)総合文化教育センター長 生熊譲二 E-mail:ikuma@la.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0242 Fax(0466)34-1096
(b)，(c)情報工学科長 天野眞家 E-mail:s.amano@info.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0211

■(独)理化学研究所

募集人員 協力技術員 若干名

所属 情報基盤センター

応募資格 中・大規模ネットワークの設計および運用管理の経験を有する技術者，またはネットワークについての知識を有しネットワーク関連サーバの設計・構築および運用管理の経験を有する技術者

着任時期 平成17年9月1日（予定）

提出書類 履歴書，業績リスト，実務経験詳細，推薦書（理事長宛），着任後の抱負

応募締切 平成17年6月30日（必着）

送付先/照会先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 (独)理化学研究所 情報基盤センター 鈴木富男 E-mail:suzuki@riken.jp
Tel(048)467-9396 「協力技術員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしませんのでご了承ください

その他 詳細はWebページ (<http://www.riken.jp/>)の「人材募集」を参照ください

■(独)理化学研究所

募集人員 協力研究員 1名
 所 属 情報基盤センター
 応募資格 HPCを利用した研究,あるいはスーパーコンピュータの設計開発の経験がある研究者・技術者
 着任時期 平成17年9月1日
 提出書類 履歴書,業績リスト,実務経験詳細,推薦書(理事長宛),着任後の抱負
 応募締切 平成17年6月30日(必着)
 送付先/照会先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 (独)理化学研究所 情報基盤センター 鈴木富男 E-mail:suzuki@riken.jp
 Tel(048)467-9396 「協力研究員応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
 そ の 他 詳細はWebページ (<http://www.riken.jp/>)の「人材募集」を参照ください

■広島工業大学工学部電子・光システム工学科

募集人員 助教授もしくは講師 1名
 専門分野 情報通信(ネットワーク含む),電子回路関連分野
 担当科目 通信工学,電子回路,プログラミング実習,実験実習,卒業研究など
 応募資格 博士の学位を有する方,上記分野の講義・実験を担当でき,教育研究に熱意のある方,専門分野における教育研究の経験と業績のある方,大学院(博士前期課程)担当可能な方.年齢は45歳以下が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書,業績リスト(論文,著書,報告書,特許,現在の教育研究あるいは業務の内容,学会活動歴など),主要論文別刷(5編程度,コピー可),着任後の教育研究に対する抱負(1000字程度),推薦書,健康診断書
 応募締切 平成17年7月8日
 送付先 〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学総務部 柳川周郎
 E-mail:yanagawa@jim.it-hiroshima.ac.jp Tel(082)921-3123 Fax(082)921-8934 「親展」と朱書し書留
 照会先 電子・光システム工学科 主任 浅野敏郎 E-mail:tasano@cc.it-hiroshima.ac.jp
 そ の 他 本学科の構成については,Webページ (<http://www.eleph.it-hiroshima.ac.jp/>)をご参照ください

■関西大学工学部システムマネジメント工学科

募集人員 専任講師または助手 2名
 専門分野 生産管理分野 1名,情報システム分野 1名(それぞれの分野での教育・研究に従事できること)
 応募資格 博士の学位を有するか,着任時点までに取得見込みの方,年齢35歳程度までの方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書(A4用紙に住所・氏名・生年月日・連絡先住所・電話番号・E-mailアドレス・学歴・学位・職歴・所属学会・社会における活動状況・賞罰などを記載),研究業績リスト(著書,査読付き論文,査読なし論文,解説記事,国際会議報告,国内学会報告,その他(招待講演,調査報告など),特許の項目に分け,発表年月日の新しい順に,タイトル・全著者名・発行年月・掲載雑誌名(巻・号・ページ)を記載),主要論文別刷(5編以内,コピー可),教育・研究に関する抱負(A4用紙1枚),可能であれば参考となる意見を伺える2名以内の方の氏名・所属・連絡先・応募者との関係を記した書類
 応募締切 平成17年7月15日
 送付先 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学工学部システムマネジメント工学科 学科長 青柳誠司
 E-mail:aoyagi@iecs.kansai-u.ac.jp Tel(06)6368-0823 「教員応募書類在中(希望分野名)」と朱書し書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 システムマネジメント工学科 冬木正彦 E-mail:fuyuki@iecs.kansai-u.ac.jp Tel(06)6368-0925

■広島工業大学情報学部情報工学科(予定)

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 組み込みシステム,デジタルシステム設計,システムソフトウェア,アルゴリズム
 応募資格 博士の学位を有する方,年齢30~45歳程度の方,上記分野の講義および実験・実習科目を担当でき,教育・研究に熱意のある方,大学院(博士前期課程)の授業および研究指導を担当可能な方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書,健康診断書,推薦書,教育研究業績リスト(論文,著書,報告書,現在の教育・研究あるいは業務の内容,所属学会など),主要論文別刷(5~7編,コピー可),着任後の教育研究に関する抱負(1000字程度)
 応募締切 平成17年7月15日(必着)
 送付先 〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学事務局総務部 柳川周郎
 E-mail:yanagawa@jim.it-hiroshima.ac.jp Tel(082)921-3123 Fax(082)921-8934 「親展」と朱書し書留

■京都大学大学院情報学研究所

募集人員	教授 1名
所属	複雑系科学専攻 複雑系構成論講座
応募資格	博士の学位を有し、次の条件を満たす方 (1)工学に関する理論的研究、および学部・大学院における教育において顕著な業績を有すること (2)本専攻の目指す「工学と理学の接点の教育と研究」の下で、工学に対する十分な理解と、物理・数学などの理学についての一定の配慮を有すること (3)工学部情報学科数理工学コースの学部教育(たとえば「工業数学」、「数値解析」などの講義と卒業研究指導など、また全学共通教育科目(いわゆる一般教育科目)の一部を含む)の兼担が可能であること (4)着任時50歳未満であることが望ましい
着任時期	平成18年4月1日以降、なるべく早い時期
提出書類	(1)履歴書(2)研究業績リスト(著書、査読付き論文、査読なし論文、解説、および国際会議招待講演などに区別すること)(3)主要研究論文別刷(5編以内、コピー可)(4)重要な研究業績の説明(A4用紙2枚程度)(5)本専攻の目指す「工学と理学の接点の教育と研究」の下に着任後の研究・教育に関する抱負(A4用紙2枚程度)(6)これまでの教育経験(担当講義、学生指導歴など・A4用紙1枚程度)(7)推薦書2通(うち1通は海外の研究者からのものが望ましい、ただし本教授選考における選考委員会委員は書くことはできないものとします)
応募締切	平成17年7月22日(必着)
送付先	〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学大学院情報学研究所複雑系科学専攻 教授選考委員会 「応募書類在中」と朱書き簡易書留かつ速達 *応募書類は返却いたしません
照会先	選考委員会委員長 教授 山本 裕 E-mail:koubo@acs.i.kyoto-u.ac.jp Tel(075)753-5901 Fax(075)753-5517
その他	適任者がいない場合は、最終候補者を選考しないことがあります 本人以外の、推薦による応募も可(その際は、上記提出書類(1),(2),(3),(4),(7)に推薦者による推薦理由書を添付。選考過程において必要が生じたときは、選考委員会から候補者本人に直接連絡をとり、着任の可否の問合せ、および上記提出書類(5),(6)の提出を求めます)。なお、本教授選考における選考委員会委員による応募は受け付けられないものとします 本専攻の目指す「工学と理学の接点の教育と研究」については、複雑系科学専攻のWebページ(http://www.acs.i.kyoto-u.ac.jp/)を参考にしてください

■東京工科大学

募集人員	助教授または講師 1名
専門分野	感性情報処理、生体情報処理またはバイオインフォマティクス
応募資格	博士の学位を有する方、年齢45歳以下の方
着任時期	原則として平成18年4月1日
応募締切	平成17年7月23日
照会先	東京工科大学コンピュータサイエンス学部 教授 坪井利憲 E-mail:tsuboi@cs.teu.ac.jp
その他	詳細は本学Webページ(http://www.teu.ac.jp/)を参照ください

■神戸市立工業高等専門学校電子工学科

募集人員	講師または助手 1名
専門分野	情報通信・計測制御工学関連分野
担当科目	情報通信系科目または計測制御系科目
応募資格	博士の学位を有する方(採用予定日までに取得可能な方を含む)、採用予定時の年齢が30歳位までの方、高専の教育(学級担任・学生指導・クラブ指導を含む)、および学術研究に熱意がある方
着任時期	平成18年4月1日
提出書類	履歴書(A4市販用紙)、研究業績リスト(口頭発表も含む)および著書、主要論文などの別刷(コピー可)、修士論文および博士論文の題目、推薦書(推薦書がない場合は応募者に関して意見を求めることができる方の氏名・所属・連絡先・応募者との関係を記すこと)、従来の研究内容と高専における教育・研究に対する抱負(1000字程度)
応募締切	平成17年7月29日(事務室必着)
送付先	〒651-2194 兵庫県神戸市西区学園東町8-3 神戸市立工業高等専門学校事務室庶務係 「電子工学科教員公募」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません
照会先	電子工学科 主任 林 昭博 E-mail:hayashi@kobe-kosen.ac.jp Tel(078)795-3242
その他	【選考方法】第1次:書類選考 第2次:第1次選考合格者に対して面接審査実施(面接予定日 平成17年8月下旬) Webページ(http://www.kobe-kosen.ac.jp/)を参照ください

■宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部

募集人員 助教授(教育職) 1名
 所 属 宇宙情報・エネルギー工学研究系
 応募資格 博士の学位を有する方、探査機および惑星探査ロボットなどに必要な高度の自律機能、あるいは、ハードウェアとソフトウェアの両面における衛星システムのアーキテクチャに対する深い学識を持ち、深宇宙探査機から小型衛星まで広い範囲の科学衛星プログラムにおいて、この分野の研究・開発の推進に指導的役割を果たす方。内外の研究者などと協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導にも十分な能力がある方を希望する
 着任時期 決定後できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究歴、論文リストと主要論文別刷、これまでの研究概要と今後の研究計画、他薦の場合は推薦書2通、自薦の場合は本人について意見を述べることでできる方2名の氏名と連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス)
 応募締切 平成17年8月1日(必着)
 送 付 先 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部庶務課人事係 Tel(042)759-8010
 「宇宙情報・エネルギー工学研究系助教授応募書類在中」と朱書し書留 *応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください
 照 会 先 宇宙情報・エネルギー工学研究系 研究主幹 齋藤宏文 E-mail:koubun@isas.jaxa.jp Tel(042)759-8363 Fax(042)759-8368
 そ の 他 詳細はWebページ (http://www.jaxa.jp/about/employ/index_j.html)を参照ください

■大分大学工学部知能情報システム工学科

募集人員 助教授 1名
 所 属 知能システム講座
 専門分野 知的情報処理、Web探索、データマイニング
 担当科目 知識処理、マルチメディア情報処理ならびにプログラミング関連科目
 応募資格 博士の学位を有する方、専門分野に業績があり博士後期課程の担当教員となれる方、情報工学・情報学にかかわる教育と研究に熱意があり新しい分野にも積極的に挑戦する意欲を持っている方、またコンピュータシステムやコンピュータネットワークの管理・運営ができる方、着任時35～45歳までの方
 着任時期 平成18年1月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 学部Webページ (<http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/index.html>)の「教員公募」をたどり「知能情報システム工学科教員の公募について」をご覧ください
 応募締切 平成17年8月15日(必着)
 送 付 先 〒870-1192 大分県大分市旦野原700 大分大学工学部総務係 係長 大坂間雅晴 「知能情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 照 会 先 知能情報システム工学科 藤田米春 E-mail:fujita@csis.oita-u.ac.jp Tel(097)554-7879

■慶應義塾大学理工学部生命情報学科

募集人員 専任講師または助手 1名
 所 属 バイオインフォマティクス研究室
 専門分野 バイオインフォマティクス研究に関しては、パターン認識や人工知能の手法を用いた配列解析やネットワーク解析、または実験系と協力してシステムバイオロジーなどの研究を行う
 担当科目 教育に関しては、プログラミングの授業と演習やバイオインフォマティクス関連の演習と実験などを担当する
 応募資格 バイオインフォマティクスを専門分野とし、コンピュータ科学や情報工学などを関連分野として、研究と教育が行える方。博士の学位を有する方、もしくは着任時点までに取得見込みの方、年齢は原則として35歳以下の方が望ましい
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書、業績調書および主要論文別刷(3編)、現在までの研究の概要(1000字程度)、志望動機および教育・研究に対する抱負(1000字程度)、応募について評価できる研究者2名の方の氏名と連絡先
 応募締切 平成17年8月15日(当日消印有効)
 送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部生命情報学科 太田博道
 E-mail:hohta@bio.keio.ac.jp 「インフォマティクス教員応募書類」と朱書し(簡易)書留

■ 詫間電波工業高等専門学校情報工学科

募集人員 助手 1名
 専門分野 情報通信, コンピュータネットワーク
 応募資格 博士の学位を有する方, もしくは採用時に博士の学位を取得見込みの方, 上記専門分野の授業が担当できる方, 採用時における年齢が32歳以下の方, 高専での教育・研究・学生指導に熱意を持ち, 心身ともに健康な方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書(自筆), 著書・論文などのリスト(著書, 論文, 口頭発表などに区分すること), 主要論文別刷(5編以内, コピー可)とその各論文の概要(各1000字以内), 高専教育に対する抱負(1000字程度), 推薦書または応募者に関して照会のできる方1名の連絡先
 応募締切 平成17年8月16日(必着)
 送付先 〒769-1192 香川県三豊郡詫間町大字香田551 詫間電波工業高等専門学校 庶務課人事係 Tel(0875)83-8507
 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 情報工学科長 國井洋臣 E-mail:kunii@di.takuma-ct.ac.jp Tel(0875)83-8576 Fax(0875)83-8592

■ 大阪電気通信大学情報通信工学部情報工学科

募集人員 (a)教授または助教授 1名 (b)教授または助教授 1名
 専門分野 (a)情報工学(情報メディア系) (b)情報工学(情報基盤技術系)
 担当科目 (a)人工知能, 自然言語処理, データベース工学, Cプログラミング演習, 情報工学実験1, 卒業研究
 (b)センシング工学, 信号処理, 神経回路, コンピュータ応用演習, 情報工学実験2, 卒業研究
 応募資格 35~50歳未満で学位を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(レフリー付き論文・国際会議発表・著書・その他に分類のこと), 主要論文別刷(コピー可)およびその概要, 研究活動報告書(A4用紙2枚以内), 着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙2000字程度), 推薦書
 応募締切 平成17年8月31日(必着)
 送付先/照会先 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学情報通信工学部情報工学科 主任 猪原正守
 E-mail:ihara@isc.osakac.ac.jp Tel(072)820-9051 Fax(072)820-9017 「情報工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留
 *応募書類は返却いたしません
 その他 【選考方法】第1次:書類選考 第2次:第1次選考合格者に対して面接審査実施(日時は, 後日1次選考合格者に直接お知らせいたします)

■ 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス理学部情報科学科

募集人員 教授, 助教授または専任講師 1名
 専門分野 数理情報, 数理物理, 応用数学, 数学
 担当科目 数学基礎科目(解析, 数学概論, 離散数学), 数理系専門科目(複素関数論, ベクトル解析, 他), 卒業研究, ゼミナールおよび初年次導入教育
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院における教育・研究の指導能力を有する方
 着任時期 平成18年4月1日
 提出書類 履歴書(連絡先とE-mailを明記), これまでの研究概要および今後の研究計画(1200字程度), 教育実績および教育についての構想(1200字程度), 研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文, 著書, 特許などのリスト, 共著者すべて記入のこと), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成17年8月31日(必着)
 送付先 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス平塚教務課気付 理学部長 杉谷嘉則
 「情報科学科教員応募書類」と明記し書留
 照会先 情報科学科主任 羽鳥尹承 E-mail:hatori@info.kanagawa-u.ac.jp Tel(0463)59-4111 (ext.2706) Fax(0463)58-9684
 その他 詳しくは学部Webページ(<http://www.info.kanagawa-u.ac.jp>)を参照ください
 平成17年11月中旬までに採否の通知をいたします

■群馬大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または教授 1名
専門分野 情報工学の主要分野。ただし、組み込みシステム、HDL、Web Programming または知識処理関連のいずれかの教育を分担できる方が望ましい
応募資格 博士の学位を有し、教育・研究に情熱のある方
着任時期 なるべく早い時期、遅くとも平成18年3月までに着任すること
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、業績の概要(A4用紙1枚にまとめたもの)、応募する職種(助教授もしくは教授)を明記
応募締切 平成17年9月30日
送付先/照会先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学工学部情報工学科 学科長 金森吉成
E-mail:kanamori@cs.gunma-u.ac.jp Tel(0277)30-1847 Fax(0277)30-1851 *連絡はなるべくE-mailでお願いします

■福井大学工学部情報・メディア工学科

募集人員 教授または助教授 1名
専門分野 計算機アーキテクチャ、システムLSI、並列分散処理、超並列コンピューティング、メディア処理を指向したコンピューティング
応募資格 博士の学位を有していること、上記専門分野において研究業績があり、博士課程の研究指導および授業を担当できる方、教育・研究に熱心な方
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書(着任可能時期と連絡先を明記)、研究業績リスト(学術雑誌論文、国際会議報告などにカテゴリ分けし、査読の有無を明確にすること)、主要論文別刷(教授応募12編、助教授応募8編)、これまでの研究の概要、今後の研究計画および教育に関する抱負(2000字程度)、応募者に関し意見を伺える方の氏名・所属・連絡先(電話番号など)
応募締切 平成17年10月28日(適任者があれば締切日より早く選考を開始することがあり、できるだけ早急に応募してください)
送付先/照会先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部情報・メディア工学科 学科長 長谷博行
E-mail:hase@fuis.fuis.fukui-u.ac.jp Tel/Fax(0776)27-8477 「情報・メディア工学科教官人事公募」と朱書き書留
その他 詳細はWebページ(<http://fuis.fuis.fukui-u.ac.jp/ikoubo.html>)を参照ください
本学科の構成、研究・教育内容および提出資料の詳細については、上記学科長にお問合せください

■関西学院大学理工学部情報科学科

募集人員 教授、助教授または専任講師のいずれか 1名(経験と実績による)
専門分野 メディア情報処理とその周辺。たとえば、CG、VR、CHI、デザイン情報処理など
担当科目 メディア系情報処理科目の講義・実験、一般情報処理科目および大学院科目
応募資格 着任時に45歳未満である方が望ましい
着任時期 平成19年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷(3編以内)、従来の研究経過と将来の研究および教育に対する抱負(1500字以内)、推薦書2通(または所見を求め得る2名の方の氏名と連絡先)
応募締切 平成17年10月31日(必着)
送付先 〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1 関西学院大学理工学部長 篠原彌一 「情報科学科人事応募書類」と表記し郵送
*提出書類はご返送しませんのでご了解ください
照会先 理工学部 茨木俊秀 E-mail:ibaraki@ksc.kwansei.ac.jp
その他 詳しくはWebページ(<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/>)を参照ください

FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム

聴講参加事前予約ならびに講演論文集販売のご案内

FIT2005 ホームページ: <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/>

有料会告

情報処理学会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)とは2002年から合同で毎年秋季にFIT(Forum on Information technology)を開催しており、2005年9月には第4回目を中央大学後楽園キャンパスで開催致します。

つきましては、聴講参加事前予約ならびに講演論文集、CD-ROM販売のご案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、CD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。また、残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期: 2005年9月7日(水)~9日(金)
 会 場: 中央大学後楽園キャンパス(東京都文京区春日1-13-27)
 交 通: 地下鉄丸ノ内線 後楽園駅下車 徒歩5分
 地下鉄三田線・大江戸線 春日駅下車 徒歩8分
 ※お車でのご来場はご遠慮ください。
 アクセスhttp://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/trafficmap_c.pdf

■開催予定イベント企画

(詳細は逐次FIT2005ホームページでお知らせ致します)
 今回のFITでは以下をテーマに講演会、パネル討論等のイベント企画を開催予定です。

- ・特別講演 船井業績賞 坂村健 氏
- ・船井業績賞記念パネル討論
- ・船井論文賞セッション
- ・脳科学と情報科学はどう融合していくのか
- ・分子計算のしくみ
- ・スパコン日本の時代は取り戻せるか
- ・SAN(System Area Network)とクラスタシステムの今後
- ・若い才能と未踏ソフトウェア創造事業
- ・パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
- ・3次元ビデオ処理に関するシンポジウム
- ・MVEビデオセッション
- ・最先端医用イメージング技術
- ・サイバーワールド
- ・情報システムのブレイクスルー可能性を探れ!
- ・ITベンチャーが拓く新しい未来・社会
- ・安心・安全のための情報技術
- ・オールジャパン体制での情報セキュリティ研究開発
- ・国家的課題としての情報セキュリティ人材育成
- ・暗黒時代の大学に夜明けは来るか
- ・JABEEおよび情報処理学会と日本技術士会の連携
- ・フェロー&マスターズ特別講演会
- ・異文化コラボレーションシンポジウム
- ・海外への情報発信の方法論

■聴講参加費(税込)

参加区分	事前予約(7/15迄)	当日
正会員	7,500円	8,500円
非会員	15,000円	17,000円
学生	無料	無料

※正会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・CD-ROMが含まれております。

※正会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。
 正会員: 情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会および電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK、KICS、KISS、IEEE/Com. Soc.、IEEE/LEOS、IEEE/EDS、IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KISS、CSI)の正会員(個人会員)に限ります。

非会員: 上記の学会会員以外の方。
 学生: 会員/非会員を問わず無料(CD-ROMは付きません)。
 社会人学生の方も、学生証を総受付で提示頂ければ無料です。

■懇親会(船井業績賞他各種表彰式)

開催日時: 9月8日(木) 18:00を予定
 会 場: 中央大学後楽園キャンパス5号館B1F 食堂
 参 加 費: ※すべて当日での受付(支払い)となります。

参加区分	懇親会参加費(税込)
社会人	5,000円
学 生	2,000円

■冊子講演論文集・CD-ROM販売価格(税込)

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集各分冊	10,000円	15,000円
CD-ROM	8,000円	55,000円

※セットには、CD-ROM、セットカバーが付きまます。

※CD-ROM学会会場販売価格2,500円。

■聴講参加事前予約・講演論文集・CD-ROMの申込み・送金方法

申込期限: 平成17年7月15日(金)必着(電話予約は不可)
 申込方法: FIT2005ホームページからお申込み頂くか、または「FIT2005聴講参加事前予約・講演論文集・CD-ROM申込書」に必要事項をご記入のうえFAXにてお申込み下さい。

聴講参加事前予約者の方、講演論文集セットまたは分冊を申し込んで受取り方法を「会場で受取」にされた方には引換券をお送り致します。ご来場の際は御持参頂き、総受付にご呈示下さい。

受取方法: 講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場渡し」または「FIT終了後郵送(10月上旬)」のいずれかを選択して下さい。

CD-ROM(セットに付くCD-ROMは除く)は、全て事前発送となります。

送金方法: 申込後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。送金は以下のいずれかの方法をお願い致します。

(1)郵便振替で送金の場合: 同封の郵便振替用紙をご利用頂くか郵便局備え付けの振替用紙に「口座番号00150-4-83484、加入者名 社団法人情報処理学会」を明記のうえ、通信欄に必ず「FIT2005、請求書番号、氏名」を明記のうえお振込み下さい。

(2)銀行振込みで送金の場合: 振込人名を「FIT2005-請求書番号-氏名」として以下のいずれかの口座へお振込み下さい。

- ・みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金 1013945
 口座名義: 社団法人情報処理学会
- ・東京三菱銀行 本店 普通預金 7636861
 口座名義: 社団法人情報処理学会講習会
- ・東京三菱銀行 本店 普通預金 7636858
 口座名義: 社団法人情報処理学会

※振込みが完了されましたら、同封の「送金連絡票」に振込み情報をご記入のうえ、以下の申込先へFAXにてお送り下さい。同封の郵便振込用紙でお振込の場合にはFAX返信は不要です。

※FIT会場でのお支払いは一切お受け致しませんのでご了承下さい。全て振込でお願い致します。

送金期日: 平成17年9月2日(金)

■申込先・問合せ先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
 社団法人情報処理学会 事業部門
 Tel. 03-3518-8373 Fax. 03-3518-8375
 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

■講演論文集の内容(分野)

- ・情報科学技術レターズ: 査読付論文(全分野)
- ・一般講演論文集:
 - 第1分冊: モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、アーキテクチャ・ハードウェア
 - 第2分冊: データベース、自然言語、人工知能・ゲーム、音声・音楽、生体情報科学
 - 第3分冊: 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - 第4分冊: ネットワークコンピューティング、ユビキタス・マルチメディア・セキュリティ、教育・人文科学、情報システム
- ・CD-ROM: 上記全論文とプログラムを収録(著者、所属、キーワードによる索引付き)

■最新情報確認のお願い

標記のFIT2005ホームページへ逐一掲載致します。

■次年度のFIT2006開催

平成18年9月、福岡大学(福岡市城南区)にて開催予定

FIT2005 聴講参加事前予約・講演論文集・CD-ROM申込書

*本用紙に必要事項を記入し、FAX (03-3518-8375) にてお申込み下さい。

[申込締切 7月15日(金) 到着厳守]

■聴講参加事前予約申込

参加区分	費用	該当に○を記入
正会員(参加章・プログラム・CD-ROM付)	7,500円	
非会員(参加章・プログラム・CD-ROM付)	15,000円	

■講演論文集・CD-ROM購入申込

御注文品目	価格	部数	金額
セット個人・法人購入	57,000円		円
情報科学技術レターズ 個人購入	10,000円		円
情報科学技術レターズ 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第1分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第1分冊 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第2分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第2分冊 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第3分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第3分冊 法人購入	15,000円		円
一般講演論文集 第4分冊 個人購入	10,000円		円
一般講演論文集 第4分冊 法人購入	15,000円		円
CD-ROM 個人購入(全分冊・プログラム/事前発送)	8,000円		円
CD-ROM 法人購入(全分冊・プログラム/事前発送)	55,000円		円
小 計			円

合 計 (聴講参加事前予約+講演論文集・CD-ROM購入)			円
--------------------------------------	--	--	----------

お受取方法： (セットまたは分冊をお申込みの場合、御希望の方法に○を付けて下さい。)

1. 会場で受取 2. FIT終了後郵送 (10月上旬)

申込者 (送付先：品物・請求書・送金連絡票)：

会員区分：正会員 非会員 学生 [いずれかに○印を付けて下さい]

所属学会： _____ 会員番号： _____

通信区分：自宅・勤務先 [いずれかに○印を付けて下さい]

住所：〒 _____

勤務先名・所属名： _____

申込者： _____ TEL _____ (内線 _____)

e-mail： _____

※CD-ROM (セットに付く CD-ROM は除く) は、FIT 開催前の事前発送のみとなります。

※セットまたは分冊を御希望場合には、受取方法を必ず御記入下さい。

※請求書の送付先は、品物の送付先と同一になります。

※聴講参加事前申込の方、講演論文集セットまたは分冊を申込み受取り方法を「会場で受取」にされた方へは、引換券をお送り致しますので、会場へお越しの際は必ず御持参頂き、FIT 総受付に御呈示下さい。

※お支払いの際は、入金確認のために送金連絡票をお送り下さいますよう御協力をお願い致します。

※FIT 会場でのお支払い一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

ご意見をお寄せください!

【7月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4606.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2005年6月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 創立 45 周年記念特別寄稿: 情報という言葉を尋ねて (3) 10-1-
- 特集: 情報社会における脆弱性にかかわる研究動向
1. 情報社会の脆弱性について 10-2-
- 2.1 暗号における脆弱性について 10-3-
- 2.2 ソフトウェア製品における脆弱性 10-4-
- 2.3 Web アプリケーションにおける脆弱性 10-5-
- 3.1 DRM における脆弱性について 10-6-
- 3.2 脆弱性を視覚化するハザードマップとコストモデルについて 10-7-
- 4.1 脆弱性にかかわる法的側面について 10-8-
- 4.2 脆弱性情報の取り扱いについて 10-9-
- 4.3 脆弱性問題を解決するための多重リスクコミュニケーター 10-10-
- 学習対象メタデータ (LOM) 付与による教育用コンテンツの共有と流通 10-11-
- 組込みソフト産業の実態と開発の課題: 組込みソフトウェア特性に基づくプロジェクト構築 10-12-
- 少数キーによる入力 10-13-
- Web サービス: Web サービスの本格的な活用と普及に向けて 10-14-
- Haskell プログラミング: 数当てゲームを解く 10-15-
- 情報技術と医療: 般若心経 メタモデリング的抄註 10-16-
- アメリカ IT まわりの話題: 商品が過去を語る日 10-17-
- 日本の IT 事情: 日本の IT 研究開発のしきり直し 10-18-
- 電子認証いまむかし: 電子認証の苦悩 (1) 10-19-
- 20 世紀の名著名論: A. Newell and H. A. Simon: Human Problem Solving 10-20-
- 20 世紀の名著名論: Ben Shneiderman: Designing the User Interface: Strategies for Effective Human-Computer Interaction 10-21-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

今回の脆弱性に関する特集は、従来の情報セキュリティに関する記事とはまったく異なる視点からのものを目指した。脆弱性は、非常に多くのセキュリティインシデントの原因となる事項であり、世の中には脆弱性が満ち溢れている。こうした脆弱性のさまざまな側面およびそれに対する研究を俯瞰的に紹介することにより、従来の情報セキュリティとはまったく異なる内容の記事を提供できたと自負し

ている。

なお、毎回のことであるが、特集記事の脱稿にあたり、学会の綿谷さん、編集長の和田先生、その他編集委員各位、CWG 関係者には多大なるご迷惑をおかけしてしまった。記事の期限を再三延長していただき、やっとの思いで完成することができた。関係者に感謝したい。

(村瀬一郎/本特集エディタ)

次号 (7月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 spam メール の現状と対策の動向

spam メール の問題点 / spam メール の現状 / ブロッキング、スロットリング / フィルタリング / バウンスメール対策 / 発信者認証 / ISP における対策 / 携帯電話における対策 / spam 対策団体の活動 / 法制面での問題と対策 / 政策・行政面での対策

解説

コンピュータ将棋の歴史的瞬間：プロ棋士に角落で勝利—ついにプロの強さが射程範囲に—…………… 小谷 善行
 コンピュータ将棋はどのようにしてアマ5段まで強くなったか？ …………… 松原 仁
 将棋プログラムの現状と未来…………… 鶴岡 慶雅
 小型衛星の時代—大学の手作り小型衛星の開発…………… 黒木 聖司 他

連載 Haskell プログラミング / Web サービス / 組込みソフト産業の実態と開発の課題

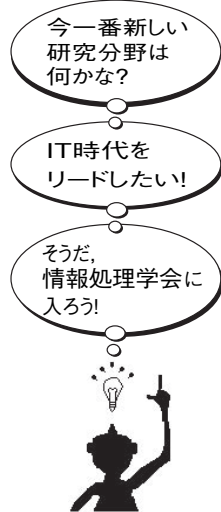
コラム アメリカ IT まわりの話題 / 情報技術と医療 / 地域社会と IT / 電子認証いまむかし / 20世紀の名著名論 / 日本のIT事情

会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel:(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

〔R〕<学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。